

栃木県立足利南高等学校 学校評価票 令和5 生徒テーマ：“夢をつかもう”

学校組織目標：教育の質を高める総合学科・チーム足南  
～生徒の可能性を見出し、自主性をはぐくむ学校

本年度の目指す生徒の姿

- 自分のよさや強みに気づいて、それを学校生活の中で発揮する生徒
- 目的意識や進路の自覚を深めて主体的に学び、学ぶことの楽しさを見出す生徒
- 様々な立場や考え方を尊重し、他者と協力して活動に取り組む生徒
- よい習慣や行動を身につけ、心と身体のバランスを保ち、健康を増進する生徒

取組の視点

生徒

- コロナ後の状況を踏まえ、引き続き感染防止対策を徹底しながら、学校行事や諸活動の活性化を図る。
- 「産業社会と人間」の意義を確認し、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動等との有機的なつながりを意識しながら生徒の「自分探しの旅」を支援する。
- 生徒一人一人のよさや強みを認め励まし、自己肯定感を高める。

教職員

- 積極的な関わりにより生徒理解に努め、悩みや問題への指導・支援につなげる。
- 原点に戻る（ねらいの意識化・明確化）。
- 優先順位、働き方改革と業務改善、ワーク・ライフ・バランスを意識する。

| 評価項目<br>(具体的目標)     | 教職員評価                                                                     |      |   |                                                                                                                                               | 学校関係者評価 |                                                                                                                                                                                 |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------|------|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | 評価の観点(具体的方策)                                                              | 評価結果 |   | 次年度以降への改善策                                                                                                                                    | 評価結果    | ご意見・ご助言                                                                                                                                                                         |
| 目標(1) 学びのある授業       | 1) ICTの活用や協動的な学びの実現により、生徒一人一人が主役となり、自分の頭を使って解決に取り組んでいくような学びの実感を持てる授業を行う。  | B    | B | 1) ICTの利活用は他校と比べて進んでいる。生徒が主体的に取り組むためにICTをさらにどのように活用していくかが課題である。<br>2) 観点別評価は滞りなく実施されている。より教員が「学び、学び合う」ための研修や情報交換会の開催を企画したい。                   | B       | 生徒一人一人に合わせた指導がとれるようにICTを積極的に、今以上に活用してください。<br>個別最適な学びを研究し、推進してほしい。自ら学ぶ体制がとれ、生徒と教師とのコミュニケーションがとれる場がある。情報交換は必須であり、学校全体のレベルを上げるため、教職員の皆様の意識を高く持ち、望んでいただけだと思います。                    |
|                     | 2) 生徒の主体的な学びの活動をしっかりと「みとる」ことができるようにするため、教師自身が「学び、学び合う」ことによって観点別評価の充実を図る。  | B    |   |                                                                                                                                               | B       |                                                                                                                                                                                 |
| 目標(2) 居甲斐のある学校生活    | 1) 学校行事、部活動、生徒会活動への積極的な参加を促し、活動する喜びを体験させ、充実感や達成感を味わわせるとともに生徒の可能性を伸ばす。     | B    | B | 1) 学校祭やその他の行事を例年に近い形で開催した。徐々に、生徒の主体性を活かし、伸ばしていくよう指導していきたい。<br>2) 人権や多様性を尊重するための教材も工夫している。今後、日々の活動の中で自信を持たせることができることを取り入れお互いを認め合える環境をつくっていく。   | B       | 人権、多様性を認める社会と校則を合わせる取り組みは、それぞれの変化に合わせて欲しい。<br>学校行事では、生徒一人一人が生き生きと取組團結する姿がみえた。<br>多様性の尊重は、近年特に耳にします。甘やかす事ではなく個性を伸ばす様な指導が必要であると考えます。                                              |
|                     | 2) 集団の中で各人の役割意識を高め、責任ある生徒を育てるとともに、人権や多様性を尊重し合う集団づくりに取り組む、いじめの未然防止を図る。     | B    |   |                                                                                                                                               | B       |                                                                                                                                                                                 |
| 目標(3) 「自分探しの旅」と進路実現 | 1) 「産業社会と人間」を中核としたキャリア教育の充実を図るとともに、進むべき進路やそのために必要な科目選択に関する指導、支援を適切に実施する。  | B    | B | 「産業社会と人間」を含めた進路行事の見直しがなされ、自分を知る・職業を知る・社会を知るという、3つの柱に基づく指導計画が整理され、生徒がより主体的に自身の進路に向き合えるよう指導計画が整理されつつある。                                         | B       | 「働くこと」が自分自身の喜びであり、それが生きる意味である。そのための「自分探しの旅」に出発してほしい。<br>総合学科発表会を見学させていただきました。生徒主体による運営がなされており、発表者の内容も態度もとても立派でした。<br>「進路に向けては土台作りができる。」「計画的にできる。」「興味を持てる職業を気づかせることができる」かだと思います。 |
|                     | 2) 進路に関する行事や個別指導を適切に実施し、一人一人の職業観・勤労観を育て、生徒の強みを生かした進路実現を図る。                | B    |   |                                                                                                                                               | B       |                                                                                                                                                                                 |
| 目標(4) 心と身体の健康       | 1) 感染防止対策・保健指導・清掃指導・安全指導等の充実を図り、安全管理体制をより一層強化し、安全で清潔な過ごしやすい環境を維持・向上させる。   | B    | B | 1) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、引き続き換気や消毒などの感染症対策は行っていた。<br>2) 教育相談関係は組織的に行う体制が整ってきた。今後はスムーズに生徒支援に結び付けられるよう教員の研修などの充実を図っていく。                         | B       | 心の健康は身体の健康につながるので、生徒の話を直接やICTの活用をして聞いてあげて下さい。<br>感染対策をきちんと行えた。生徒・保護者が教師との相談できる場がある。                                                                                             |
|                     | 2) 生徒や保護者が抱える問題や悩み等について教育相談の充実を図るとともに、教職員間の情報共有やSC・関係機関との連携を通して組織的な支援を行う。 | B    |   |                                                                                                                                               | B       |                                                                                                                                                                                 |
| 目標(5) 安全・安心な学習環境    | 1) キャリア教育の観点に立って基本的生活習慣の育成を図り、規律ある行動と落ち着いた学習環境の維持・形成に努める。                 | B    | B | 1) 進路適性検査や進路ガイダンスを通じて自己理解を深め、所属集団や社会の中で自分の果たすべき役割を考えることができた。<br>2) 交通事故が多発してしまった。事故防止のための啓発をより行っていく。問題行動については、ひとりひとりのよさを認めていく声掛けなどを継続的に行っていく。 | B       | 安全安心の確保をするためのルールは大切なので、そのための強化は必要と思う。規律ある行動ができている。落ち着いた学習環境が維持されている。適性検査・ガイダンスを受け自分のこれからの理解を深めるきっかけになった。事故を起こさぬよう、指導を強化する。通学時の自転車の2列走行、小さな交差点での注意指導をお願いします。                     |
|                     | 2) 日頃の生徒観察、声かけ指導等により、事故防止や問題行動等の未然防止を図る。                                  | B    |   |                                                                                                                                               | B       |                                                                                                                                                                                 |
| 目標(6) 開かれた学校・地域との連携 | 1) HPの更なる充実など本校への理解を深めるための情報発信の強化を図る。                                     | B    | B | 1) 必要な情報を十分に受け取ることができるように整備し、より充実した情報発信を行えるように努めていく。<br>2) 校外活動においては、関係機関と連携を図りながら、地域の資源を有効活用し、実践していくように努める。                                  | A       | HPでの情報発信やその他公式でのSNSの運用も良いと思う。HPが定期的に更新され、内容も充実している。HP・資料の配布等、門、交差点での見回りなど取り組む姿が見えた。                                                                                             |
|                     | 2) 地域・PTA・同窓会・関係団体等との連携やボランティア活動・国際交流への参加について、コロナ後の状況を踏まえ活動を活性化していく。      | B    |   |                                                                                                                                               | B       |                                                                                                                                                                                 |

AA=A AB=B AC=B BB=B BC=B CC=C